

古事類苑

人部 四

身體 一

身體ハ、ミト云ヒ、ムクロト云ヒ、後又カラダトモ云フ、又之ヲ四體ト云フハ、原ト支那ヨリ出デ、五體ト云フハ、印度ニ起リタルガ如シ、而シテ死骸ハ之ヲカバネト稱ス、

身體ノ各部ハ、各、特殊ノ作用ヲ有シ、隨テ其名稱モ亦極メテ多シ、就中頭髮ニハ、垂髮、結髮、剃髮、總髮等ノ別アリテ、年齢若シクハ時代場所等ニ由リテ、各、其稱呼ヲ異ニシ、今容易ニ之ヲ識別シ難キモノアリ、

垂髮ハ、我邦最古代ノ風ナレドモ、男子ハ夙ニ之ヲ頭上ニ束ネタリシガ如シ、天照大神、神功皇后等ノ、特ニ事アル時ハ、男子ニ擬シテ、髻ヲ作り給ヒシ事アルヲ見テ知ルベシ、天武天皇十一年、詔シテ、天下ノ民、婦女悉ク結髮セシメシガ、十五年ニ至リテ、女子ハ再ビ、悉ク垂髮セシム、宮中其他貴族ノ男女ハ、後世ニ至ルマデ、一ニ此風ヲ守レリ、サレド普通ノ婦女ハ、作業ノ爲ニ、之ヲ束ヌルノ風漸次ニ起リ、而シテ其結髮ノ風、又次第ニ美容ヲ尙ビ、遂ニ種々ノ髻形ヲ生ジ、徳川幕府時代ニ至リテハ、非常ニ多クノ名稱ヲ生ジタリ、而シテ男子結髮ノ風ハ、古來大抵一樣ナルガ如キモ、中世戰亂ノ時、武士甲冑ヲ帶スルヨリ、逆上ヲ防グガ爲メ、頭髮ノ一部分ヲ剃ルノ風起リ、之ヲ月代ト云ヒテ、徳川幕府時代ニ至リテハ、若年ノモノハ月代ヲ剃ラズ、特ニ之ヲ總髮ト云ヘリ、小兒ノ髮ハ、胎髮ヲ薙ルヲ以テ通常ト爲シ、爾後二歳迄ハ